



シルバーとなみ

第 37 号

平成28年11月10日発行

ふれあい

発行 / 公益社団法人 砺波市シルバー人材センター

砺波市高道 217 の 2 TEL/0763-33-4341 FAX/0763-33-5854 HP/<http://www2.tst.ne.jp/t-silver/index.html>



安全・適正就業スローガンが
新しくなりました！

最優秀作品 老松義勝（出町地区）

シルバー人材センター安全・適正就業スローガン入賞作品の決定！

安全・適正就業推進委員会では、安全・適正就業活動を盛上げる二環として、七月より二ヶ月の応募期間で「安全・適正就業スローガン」を募集し、今回十八名三十三名の応募がありました。応募作は安全・適正就業推進委員長、副委員長ら四名による選考委員会において最終選考を行ない、最優秀作品一点と佳作二点が決まりました。

最優秀作品

「熟年の 知恵と工夫が

広がる安全」

老松 義勝 さん

佳作

「安全は 先読みチェックで

安心作業」

折橋登美子 さん

「大丈夫 だろっ作業は

しないさせない」

大蔵 健一 さん

に決定しました。



「目でよし!手でよし!声でよし!」
で安全確認 事故防止

この「安全・適正就業スローガン」は、シルバーワークプラザの壁面に掲示すると同時に、講習会・地区別会員交流会の時などの機会に安全・適正就業スローガンとして配布資料に表記するなど活用していきたいと考えています。

また、平成二十九年度定時総会で安全・適正就業スローガンを会場に掲示するとともに表彰と記念品贈呈を行います。

年度当初から「物損・傷害事故の前年度比十%削減」を目標に安全就業の推進に努め、毎月実施している安全パトロールでは、特に危険度の高い草刈・剪定作業等に携わる会員の身を守るため、安全保護具着用の徹底に努めてきました。

また、飛び石事故が多い現場では防護ネットの活用にも取り組んでいます。

更に、今年度は安全標語の募集を通じ、安全・

適正就業の強化、促進に努めてまいりました。



県シ連の指導員との
合同安全パトロールの様子

平成二十八年度十月末現在の事故発生状況は、傷害事故四件、物損事故二件となっています。昨年に比べ減少していますが、傷害事故は重篤事故に至らないものの、近年増加しつつある、虫刺され、ハチ刺されや、四件中二件が就業途上に交通事故を起こし負傷をするという内容でした。

「事故ゼロ」の実現には、何よりも会員一人ひとりが安全就業への自覚を持つことが重要であり、全会員、役職員が一体となつて、継続的に取り組むことが必要不可欠です。

日没時刻が早まる秋から冬にかけては、歩行者もドライバーも特に注意が必要となります。歩行者は、明るい服装や反射材などを利用し、ドライのライト点灯など心がけ交通事故には気を付けていたいただきたいと思っています。

砺波市シルバー人材センター 事故発生件数前年同月対比

年度別	傷害事故	賠償事故(内、飛石)	合計
平成27年度	4件	5件(3)	9
平成28年度	4件	2件(2)	6
前年比	0	Δ3(Δ1)	(Δ3)

シルバー清掃奉仕活動

八月五日(金)午前六時から、地域社会参加活動の一環として、清掃奉仕活動を実施しました。

今年も砺波チューリップ公園 社会福祉センター(庄東センター)、砺波市パークゴルフ場の三か所で除草などを行いました。

当日は、朝から大変暑い日となりましたが、チューリップ公園の清掃には百三十名が参加し、来場者に人気のある「カンナの大迷路」などを中心に草むしりを行いました。また、庄東センターでは四十三名、砺波市パークゴルフ場では四十一名が取り組みました。

参加いただいた皆さまのおかげで、どの施設も見違えるほどきれいになり、関係者の方々にも大変喜ばれました。

ご協力ありがとうございました。



色とりどりの花が咲くチューリップ公園
での除草作業の様子



「パークゴルフ交流大会」を開催

七月二十九日(金)午前九時からシルバー人材センター互助会主催の「パークゴルフ交流大会」を開催しました。

当日は暑い日でしたが、参加者四十二名は四人一組になって二十七ホールを回りました。日頃から練習を重ねている方からパークゴルフ初心者まで、ハンデを付けているので皆さん和気藹々とプレーされていました。

プレーが終了後集計、順位発表と表彰式を行い、男女それぞれ一位から五位までと、当月賞やラッキー賞、とび賞等、景品を多数用意し喜んでいただきました。

参加者の皆様、大変お疲れ様でした。

														
☆女					☆男					☆性☆				
一位	二位	三位	四位	五位	一位	二位	三位	四位	五位	一位	二位	三位	四位	五位
近藤ひろみ	吉田 一子	上野 睦子	齋藤みよ子	齊藤一二三	近藤 晃弘	檜物 芳晴	喜田 豊明	中居 洋	林 喜与志	近藤 晃弘	檜物 芳晴	喜田 豊明	中居 洋	林 喜与志
さん	さん	さん	さん	さん	さん	さん	さん	さん	さん	さん	さん	さん	さん	さん



入賞者には豪華賞品が贈られました



ナイスショット!



開会式の様子



会場は大賑わい 大変有意義な時間となりました

十月十日(月)には、富山県西部体育センターが主催する『スポーツフェスティバル・いとなみ』に砺波市シルバー人材センターの特設ブースを設け、『伝承遊び体験』を通じ、シルバー会員と市民の皆様が交流しながらPRをしました。あやとり・折り紙・コマ・けん玉・バルーンアートのコーナーには多くの親子連れや祖父母と

シルバー人材センターの普及啓発活動を実施

十月はシルバー人材センター事業の普及啓発月間です。全国的に十五日を『シルバーの日』として様々な催しが行われています。

今年も事業の拡充と会員の拡大を図るため、八月二十八日(日)の『福祉健康大会』を皮切りに、九月三十日(金)の『砺波市老人クラブ大会』など計四回パンフレットの配布を行いました。

孫らで賑わい楽しく体験してもらいました。また、同会場で役職員が来場者にパンフレットを配りながら、シルバー事業の内容を説明し、仕事の募集と会員の入会を呼びかけました。

十月二十日(木)にも富山県西部体育センターで開催された『砺波市老人クラブ連合会ふれあいスポーツまつり』でパンフレットを配布し、事業の普及啓発を行いました。



来場者にパンフレットを配布しました



新入会員を ご紹介ください

現在、いろいろな方面からシルバー人材センターを頼りにしていただき、とてもありがたく、うれしく思っておりますが、就業される会員が不足し、仕事をお断りする場合があります。特に

○市内各地の除草作業、剪定・雪吊などの樹木管理、企業・施設での屋内外清掃作業

皆さんの中で、このような作業をやってみようと思われる方は事務局までご一報ください。(電話三三ー四三四一)

また、ご近所で元気な方、一緒に働いてみたい方がおられましたらぜひセンターへの入会を勧めてください。

紹介していただいた会員の方にお礼をお渡しするキャンペーンも引き続き行っております。よろしく願います。

センター主催の 市民参加型講習会 を開催します

センターでは今年度も砺波市内在住の六十歳以上の方を対象とした技能講習会を開催する予定です。

竹垣作りでは、縄の扱い方に興味のある方、自宅での障子の張替え作業でさらにスキルアップを目指したい方など、実際に作業をしながら学ぶことができます。

昨年は、大好評であったという間に定員に達し、受講者にも喜んでいただきました。

○竹垣根作り講習会

竹の垣根を作ってみませんか。知っているとためになる、縄の結び方など一緒に学びましょう。

日時 平成二十九年一月二十五日(水)

九時三十分～十一時三十分

場所 砺波市シルバーワークプラザ

定員 十五名

対象 市内に在住する六十歳以上の方

参加費 無料

申込期限 平成二十九年一月十九日(木)

※いずれも定員になり次第、締め切らせていただきます。

○障子張り替え講習会

自宅の障子など自身で張り替える時の注意点、ちよつとしたコツなど、実際に作業しながら学びましょう。

日時 平成二十九年二月一日(水)

九時三十分～十一時三十分

場所 砺波市シルバーワークプラザ

定員 十五名

対象 市内に在住する六十歳以上の方

参加費 無料

申込期限 平成二十九年一月二十六日(木)

就業相談会を開催

六月二十一日(火)、八月二十三日(火)、十月十八日(火)に、全会員を対象とした、就業相談会を開催しました。

開催日には、就業機会の少ない方、現在の就業に何か疑問を感じている方が参加されました。

なかなか自分の思うように就業出来ない場合もありますが、事務局から、喫緊の仕事の情報などを紹介しました。

シルバー人材センターの会員となり長い年月が経過し、会員の登録時に書いた希望する仕事と、現在の希望が異なる場合など、相談があれば仕事が入った時に紹介しやすくなります。

今年度内は残り二回予定しています。お気軽にご参加ください。

第四回 就業相談会

日時 平成二十八年十二月二十日(火)

十四時～十六時

第五回 就業相談会

日時 平成二十九年二月十四日(火)

十四時～十六時

場所 いずれも

砺波市シルバーワークプラザ

※筆記用具・資格等を証明できる物(免許証等)をお持ちの方は、持参願います。

配分金 支払い日案内

12月15日(木)

平成29年

1月16日(月)

2月15日(水)

3月15日(水)

4月17日(月)

5月15日(月)



次に辛抱強いこと。先のオリンピック・パラリンピックでは女性が金メダル二個と銀メダル一個と最後まであきらめないで戦うこととすることが出来ました。

そして真面目であること。ところが偉い先生方の不祥事が毎日のようにマスコミで取り上げられています。その言い訳が誠に稚拙で聞いていて恥ずかしい限りです。全国放送までされては、県外で活躍されている方は何とも肩身の狭い思いをされているのではないのでしょうか。

私のような庶民は、バカと言われ様が、真面目に辛抱強く今自分の出来ることをやり遂げることをあげがたく思い過したものです。

先人が言われた『神様、仏様が見ておられますよ』と。

(広報委員 横川)